



えんどう ひろし 議員 遠藤 浩

公約実現

具体的なプロセスは？

町長／長期的かつ明確なビジョンを示す

遠藤：町長の各公約、重点政策等について、中長期に進める具体的なプロセスのどこに重点を置いておられるのか伺います。

「広野火力発電所の「持続堅持」についてはいかがですか。

町長：古い設備を廃止するだけではなく、新しい発電所へのリプレイスやFIREIとの技術提携による新技術での燃料転換、発電効率のイノベーション

町長：古い設備を廃止するだけではなく、新しい発電所へのリプレイスやFIREIとの技術提携による新技術での燃料転換、発電効率のイノベーション

力の育成を、長期的には町全体の教育水準を地域トップレベルに引き上げることを目指し、町全体で、子どもたちが安心して学び、夢を育める広野町を築いてまいります。

遠藤：「企業誘致による地域活性化」についてはいかがですか。

町長：地域の農業と結びついて新しい産業を起す企業を誘致し、基幹産業である農業を活性化させることにより農家の収入が安定し、農家を志す若者が増えることが期待できます。農業の多様化を目指し、団地化にも力を入れていきます。

加えて、「ふるさと納税」を活用した寄附収入の拡大を図るべく返礼品として、地域に誇れる町の特産品開発を進めるため、産業振興課内に専門部門を設置し、農家、生産者の

町長：子どもから高齢者が持続可能な健康づくりを果たすため、「家庭」及び「地域」における自主的な健康づくりと「行政」「医療・介護・福祉関係機関」の活発な保健医療活動等による予防に重点を置いた取り組みの「積み重ね」を推進して、健康長寿の延伸に結実するよう、町民が幸せで、豊かな生活を送れるまちを目指します。

遠藤：町長は、「職員意識改革」、「役場庁舎の環境改善」についても公言されており、具体的な取り組みについて伺います。

町長：私自身が改革の先頭に立って職員を鼓舞し、元職員という強みを生かしながら、信頼関係を築くことで一人ひとりのやる気を引き出していきます。

遠藤：「ふるさと納税を活用した産業の振興」についてはいかがですか。

町長：地域産品の付加価値を高め、持続的な産業基盤の構築を促進し、地域の特性に応じた効果的な施策を展開し、本町の魅力発信、地元特産品のPR並びに販路拡大による地域経済の活性化を図ってまいります。

経済ビジョン

火力後を見据えた町の将来は？

町長／火力継続と産業多角化推進

西本：広野火力発電所は、古くなった設備の影響で多くの号機がすでに止まり、今後すべて廃止される予定です。跡地の使い道も、まだはっきり示されていません。

こうした状況の中で、町長が言う「火力発電所の存続を改善する」とは、具体的に何をすることなのか。

また将来、税収や雇用が減る可能性を踏まえ、発電所に頼りきら

ない町づくりをどう進めるのか伺います。

町長：町が将来も続いていくためには、火力発電所と雇用をできる限り守ることが大切だと考えています。

そのため、古い設備を新しくすることや、新しい技術を使った発電への転換を国や事業者と働きかけます。

一方で、発電所だけに頼らず、企業誘致や農業と結びついた新しい産業づくり、特産品開発やふるさと納税の活用などにより、安定した町の収入と仕事を増やしていきます。

行政改革

公平な人事と組織改革は？

町長／信頼重なる役場づくり

西本：町長が掲げる「庁舎内の風通しを良くする」とは、職員が自由に意見を言え、公平で分かりやすい人事や評価が行われる役場をつくることだと考えます。

一方で、副町長や第三セクターのトップなど重要な役職が、特定の人に偏って選ばれると、町政への信頼を損ねるおそれがあります。

そこで、役場のどこに課題があると認識しているのか、組織をどう改革するのか、人事の決め方をどのように透明にするのか、さらにそれが町民サービスにどう反映されるのか伺います。

町長：子どもから高齢者が持続可能な健康づくりを果たすため、「家庭」及び「地域」における自主的な健康づくりと「行政」「医療・介護・福祉関係機関」の活発な保健医療活動等による予防に重点を置いた取り組みの「積み重ね」を推進して、健康長寿の延伸に結実するよう、町民が幸せで、豊かな生活を送れるまちを目指します。

遠藤：町長は、「職員意識改革」、「役場庁舎の環境改善」についても公言されており、具体的な取り組みについて伺います。

町長：私自身が改革の先頭に立って職員を鼓舞し、元職員という強みを生かしながら、信頼関係を築くことで一人ひとりのやる気を引き出していきます。

遠藤：「ふるさと納税を活用した産業の振興」についてはいかがですか。

町長：地域産品の付加価値を高め、持続的な産業基盤の構築を促進し、地域の特性に応じた効果的な施策を展開し、本町の魅力発信、地元特産品のPR並びに販路拡大による地域経済の活性化を図ってまいります。

事業計画

継承と見直しの判断は？

町長／計画重視で事業再点検

西本：前町政から、どの事業を続け、どの事業を見直すのか、その判断基準は何ですか。

見直しを行う場合、町民や議会、関係団体など説明し、理解を得ていくのか伺います。

10年後の将来像は？

町長／農業と連動した企業誘致

西本：復興後のまちづくりとして、駅周辺や商店街、道路整備の進め方はどう考えますか。

町長：整備事業は時期を見極め総合的に進め、企業誘致は農業と連動させ、特産品開発や担い手確保を促進、火力発電を基盤に、子育て支援と雇用創出で持続する町を目指します。



にしもと ひさお 議員 西本 久雄